

液状化判定結果図表外

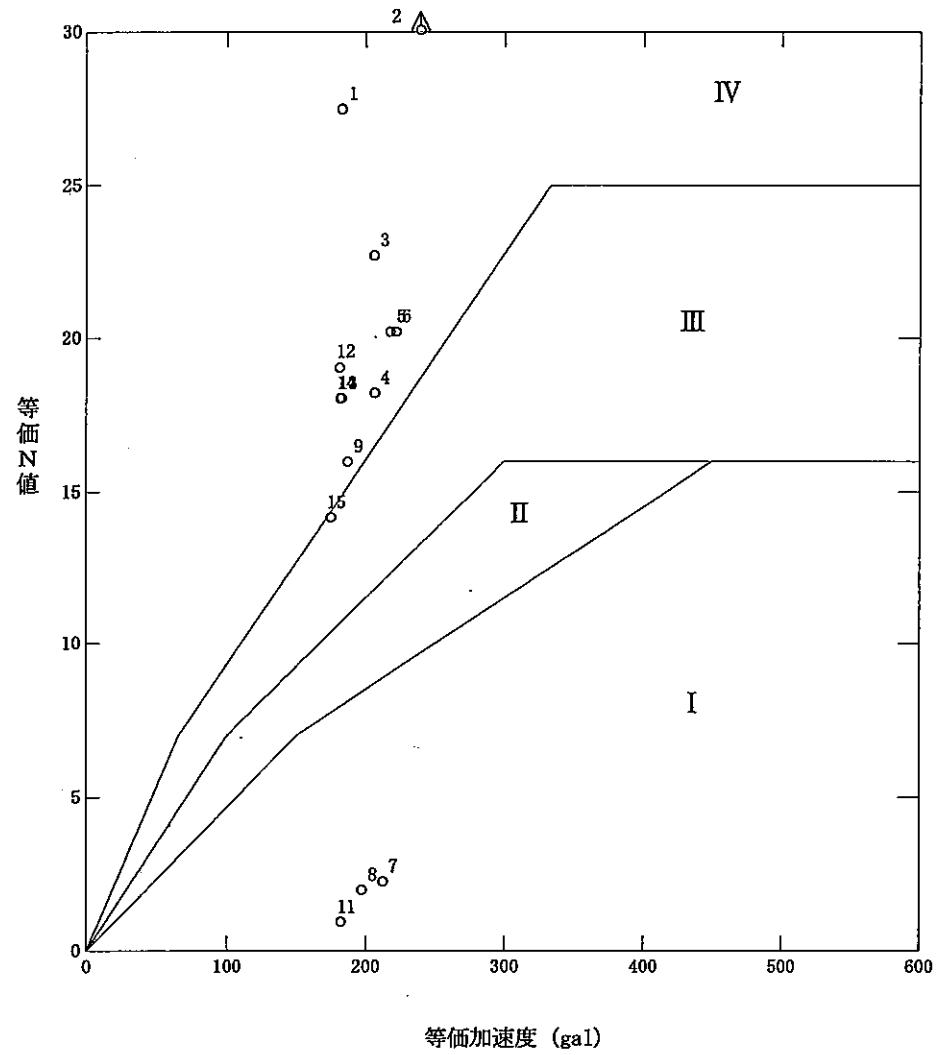
地点名 No1 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

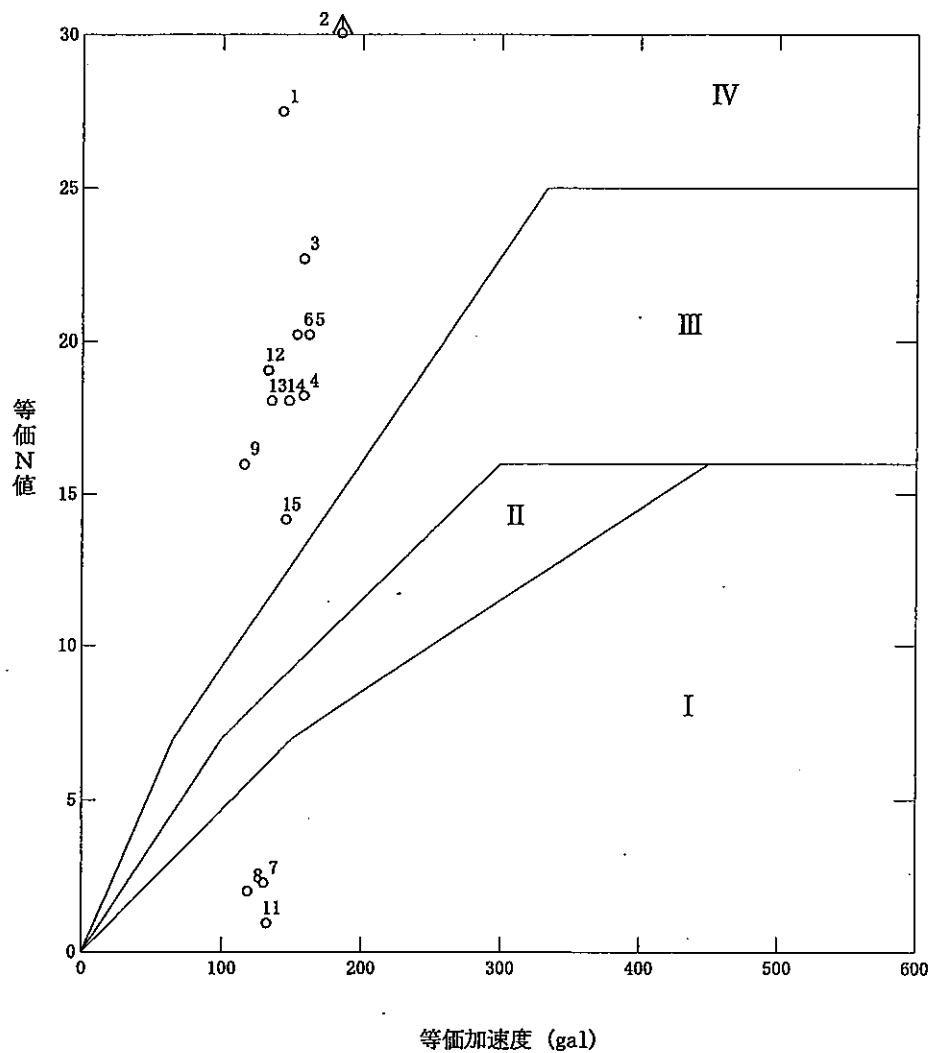
地点名 No1 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



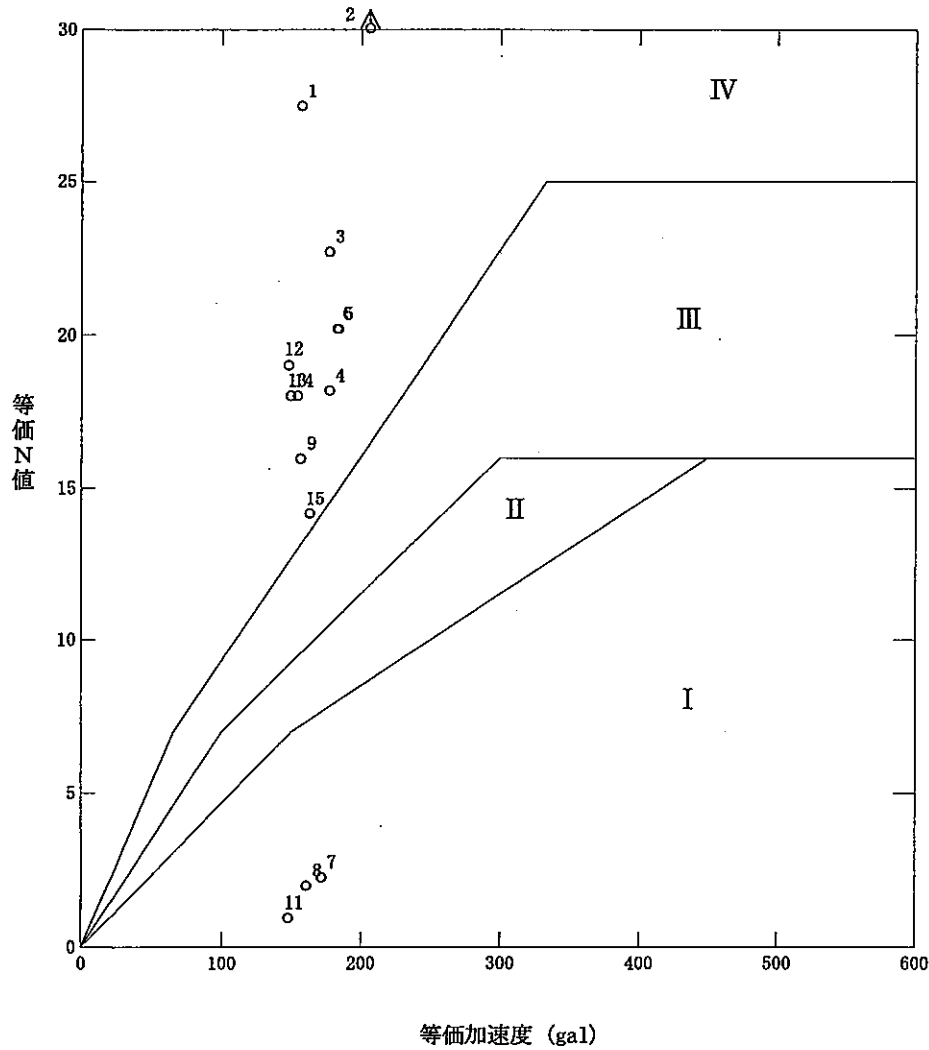
左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No1 計画地盤高AP+6.5m 埠頭

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

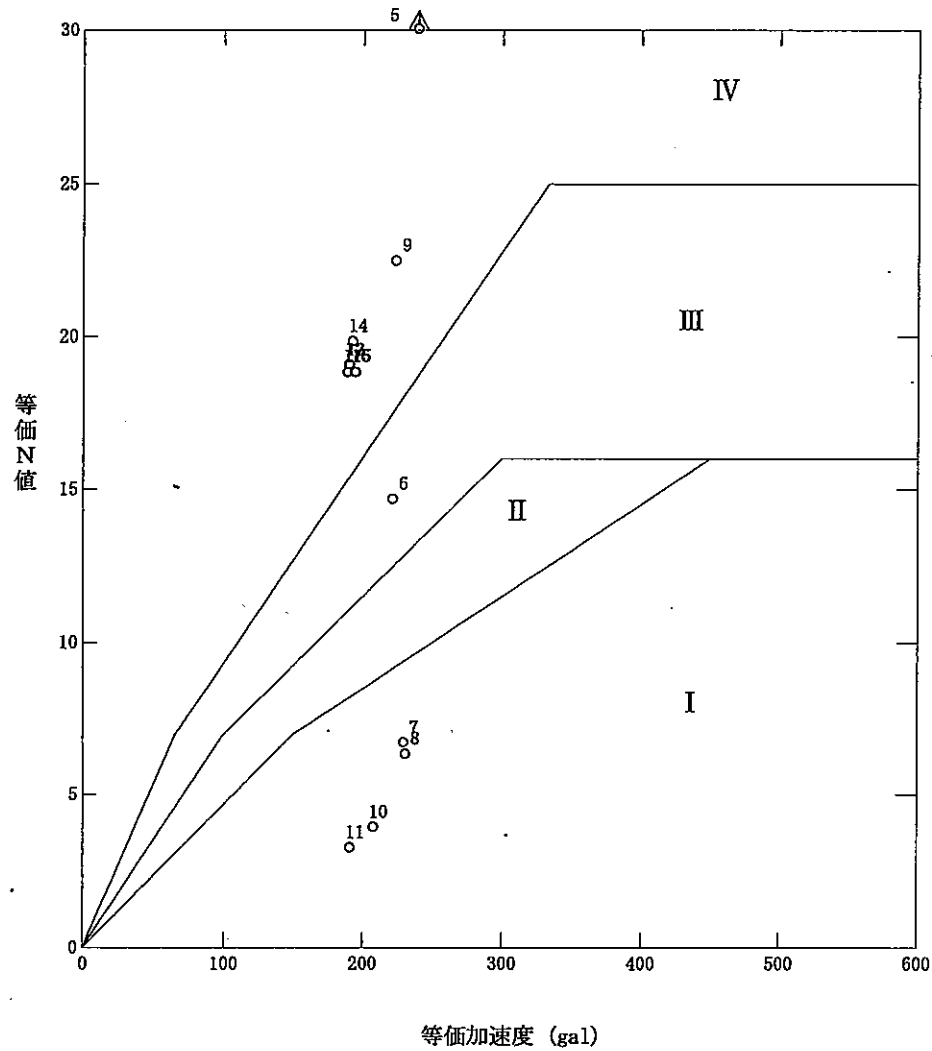
地点名 No2 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値（簡易式）



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

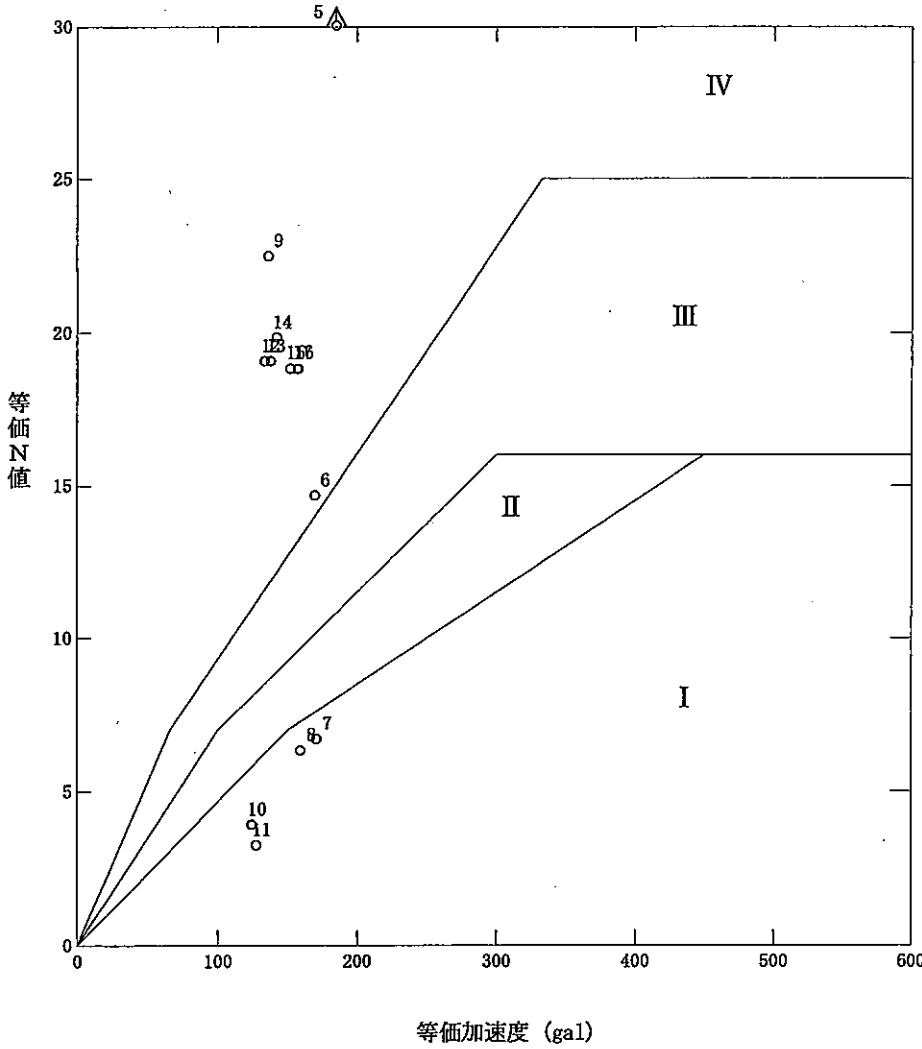
地点名 No2 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

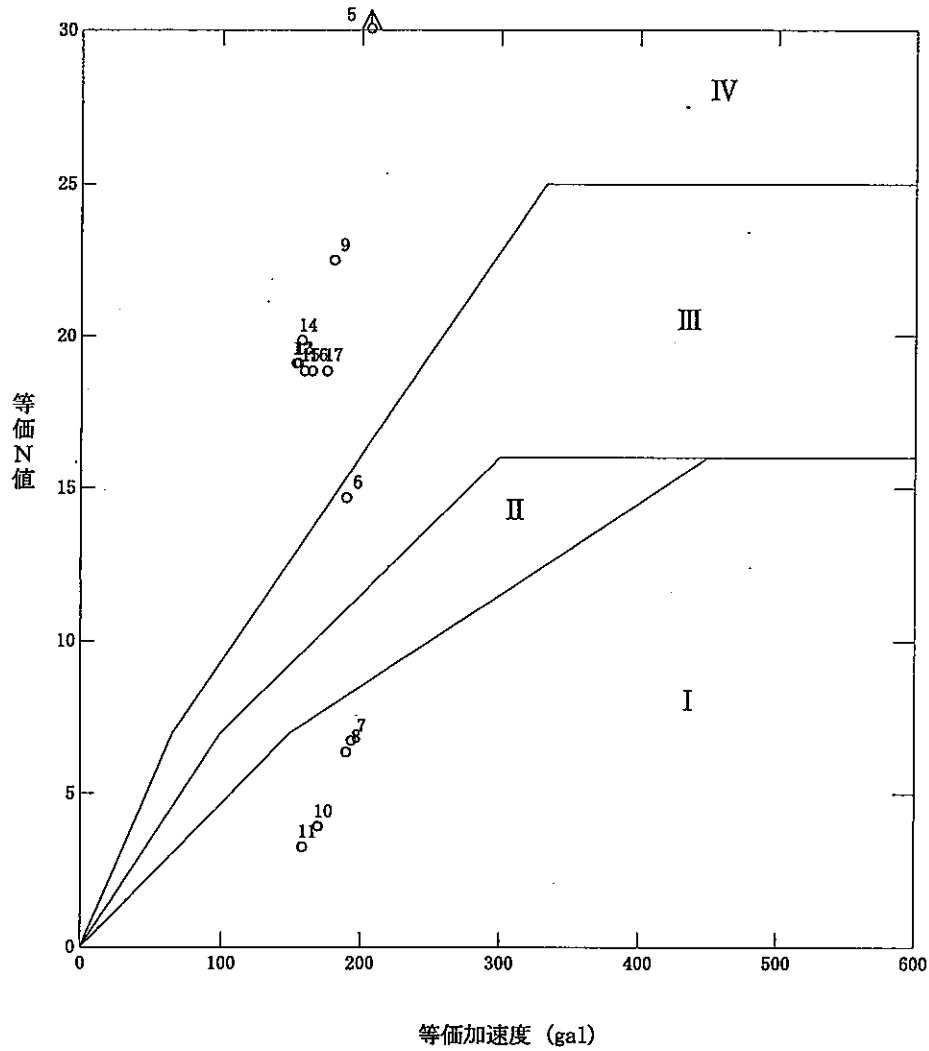
地点名 No2 計画地盤高AP+6.5m ポート

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

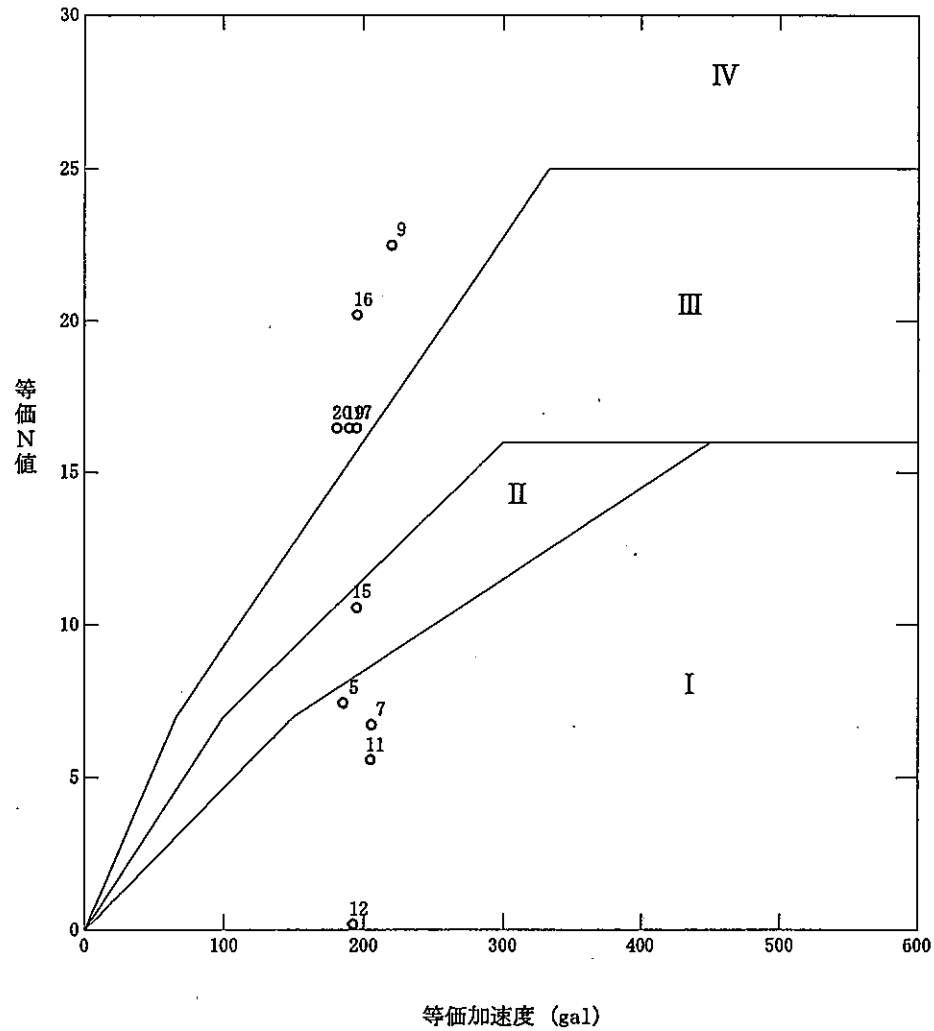


左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No3 計画地盤高AP+6.5m 八戸波
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



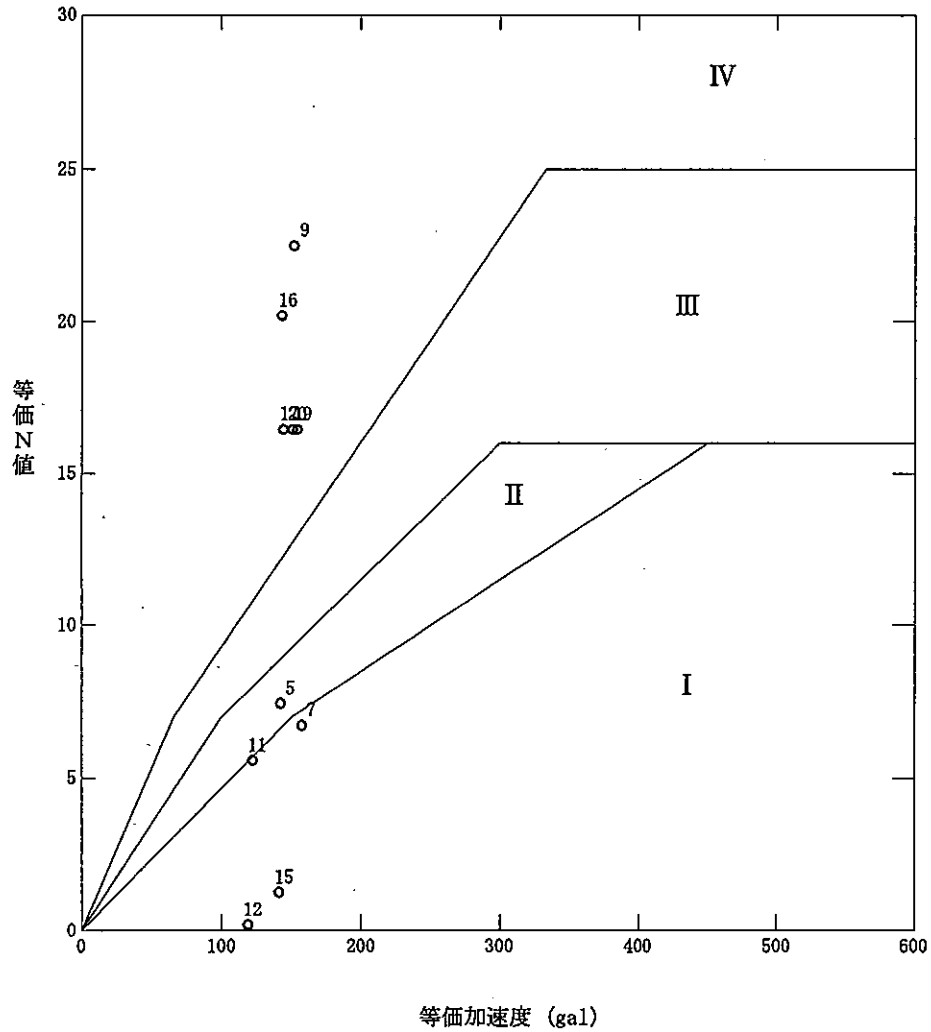
左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No3 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

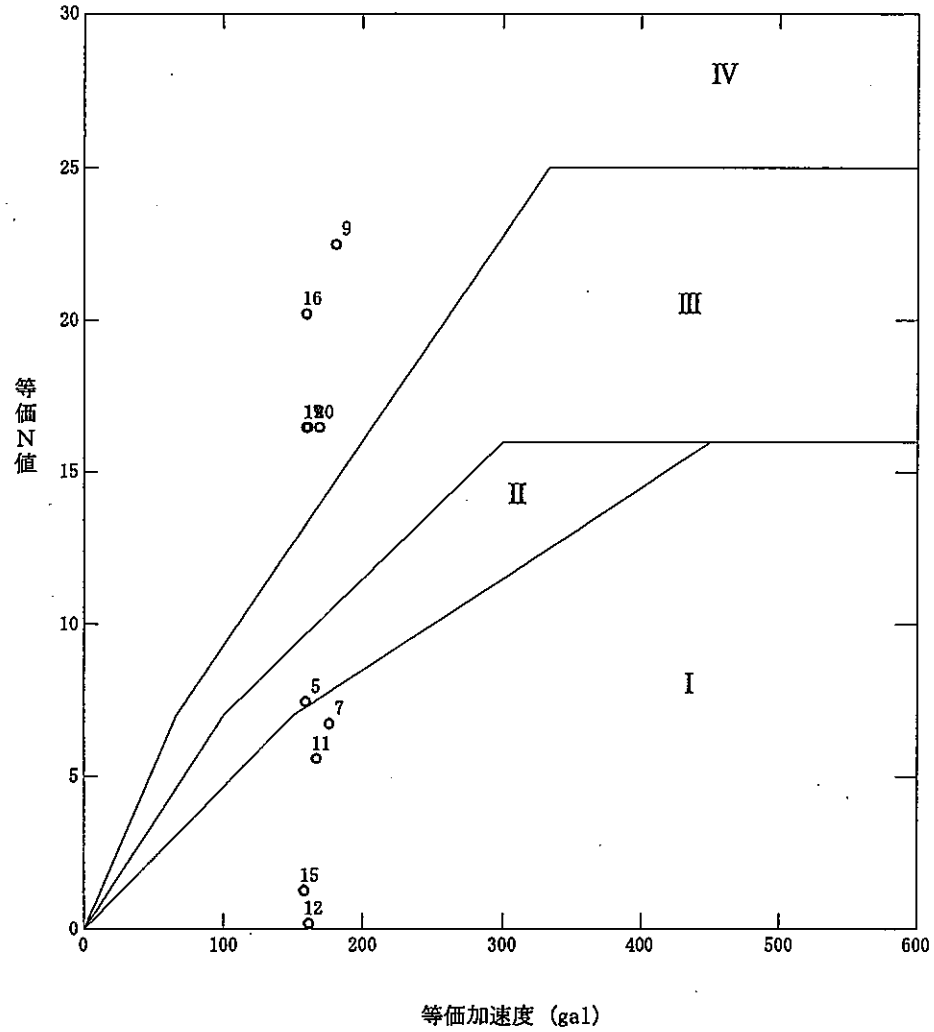


左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No3 計画地盤高AP+6.5m 北-715107波
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

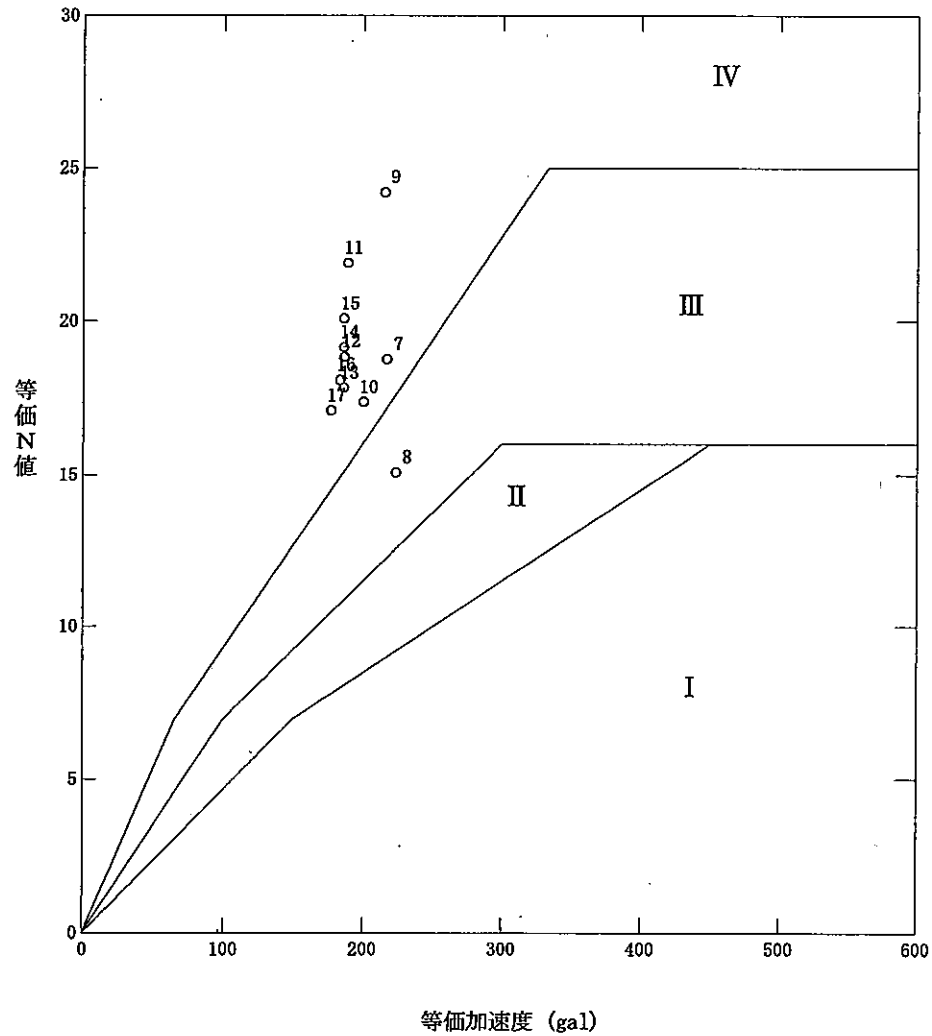
地点名 No4 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値（簡易式）



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

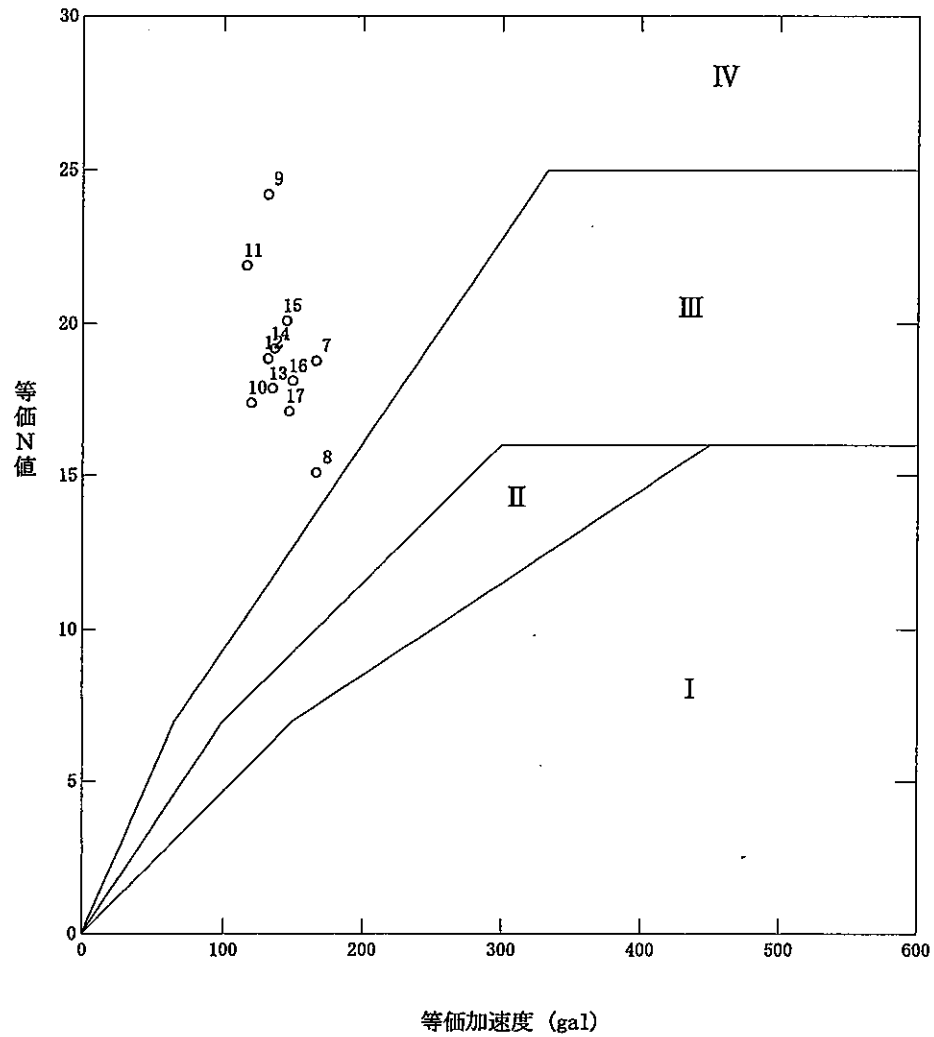
地点名 No4 計画地盤高AP+6.5m 大船渡

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

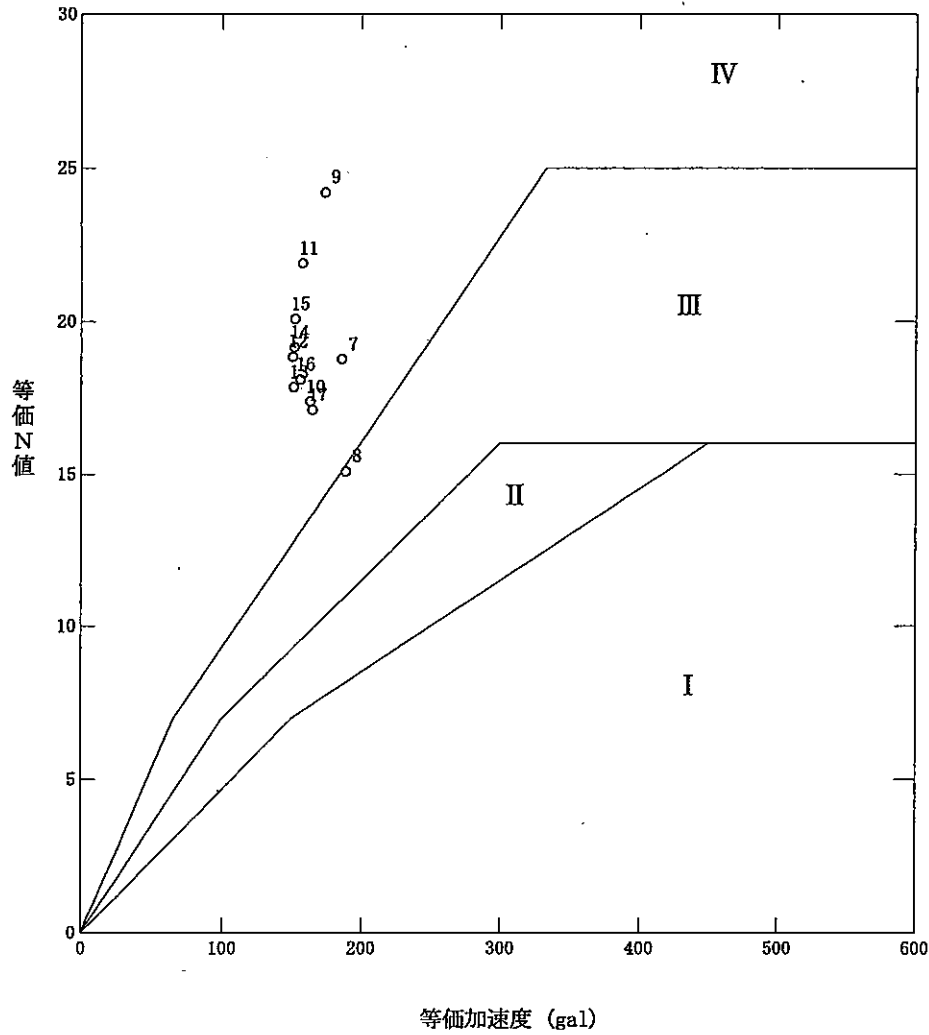


左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No4 計画地盤高AP+6.5m 埠頭
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No5 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)

(注) **1 粒度分布範囲外

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

上載荷重 0.0 (kN/m²)

**2 等価N値算式範囲外

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

**3 適用範囲外

**Ⅲ 等価N値再補正

**Ⅳ 等価N値再補正

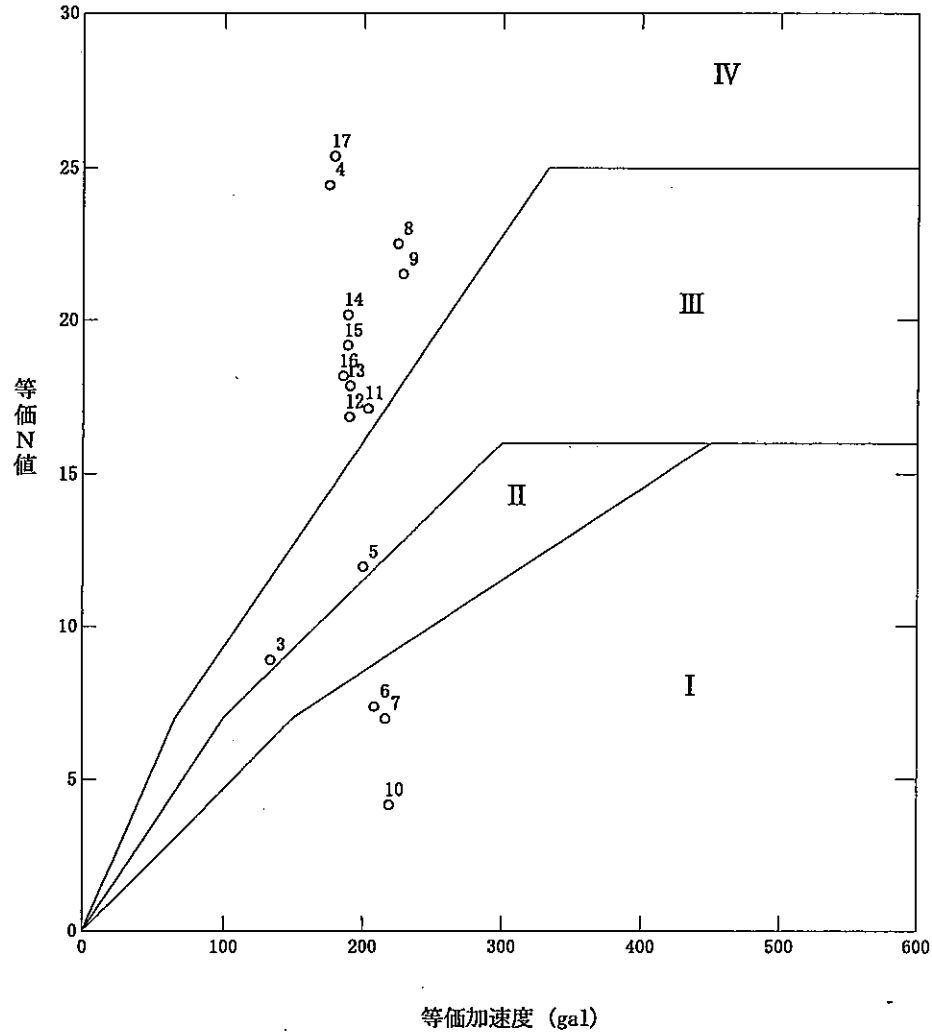
標 尺 (m)	探 高 (m)	深 さ (m)	層 番 号	層 厚 (m)	土 質 特 性											液状化の判定							
					N 値		判定 深さ (m)	湿潤 重量 (kN/m ³)	飽和 重量 (kN/m ³)	有上 載 効 圧 (kN/m ²)	等 価 N 値	細含 粒 分 率 (%)	塑 性 指 数 Ip	補 加 算 係 数 再 補 正 値	最 大 断 せん 力 (kN/m ²)	等 価 補 正 値 ()	等 加 速 度 (gal)	判 定				(注)	
					0	50												I	II	III	IV		
0	6.5	0.0																					
	6.0	0.49	1	0.49			16.0	18.0															
	5.2	1.29	2	0.80		4.0	17.0	17.0	17.5			1.9										**1	
						3.0			35.2			5.7										**1	
	3.5	3.00	3	1.71		4.0	18.0	18.0	53.2	4.4	56.0	0.0	0.500	10.4	8.88	133.5				○			
	2.9	3.64	4	0.64		12.0	20.0	20.0	61.8	12.2	30.4	0.0	0.500	15.8	24.44	174.7					○		
						11.0			68.0	10.8	6.9	0.0	0.905	19.8	11.94	200.0						○	
						4.0			74.2	3.7	56.0	0.0	0.500	22.5	7.37	208.3						○	
						6.0			80.4	5.4	9.6	0.0	0.770	25.3	6.97	216.1						○	
	-1.5	7.99	5	4.35		2.0	16.2	16.2	86.6	2.0	84.2	41.2	20.5	28.3	22.48	224.2						○	
	-2.6	9.09	6	1.10		1.0	15.2	15.2	91.8	1.0	84.2	41.2	20.5	30.5	21.48	228.1						○	
10						3.0	17.0	17.0	98.7	2.1	46.6	0.0	0.500	31.5	4.15	219.0							○
	-4.0	10.49	7	1.40		2.0			105.5	2.0	96.2	27.8	15.1	31.3	17.12	203.4							○
	-6.6	13.09	8	2.60		2.0	16.7	16.7	118.9	2.0	69.5	27.1	14.8	32.8	16.84	189.4							○
						3.0			125.7	3.0	69.5	27.1	14.8	34.8	17.84	190.0							○
	-9.1	15.59	9	2.50		2.0	16.8	16.8	139.0	2.0	71.6	35.4	18.2	38.2	20.16	188.6							○
						1.0			145.0	1.0	71.6	35.4	18.2	39.8	19.16	188.5							○
	-12.9	19.39	10	3.80		0.0	16.0	16.0	157.0	0.0	71.6	35.4	18.2	42.3	18.16	185.1							○
20						1.0	14.4	14.4	162.0	1.0	95.0	50.9	24.4	42.2	25.36	178.9							○
	-13.9	20.00	11	0.61																			

地点名 No5 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No5 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

水の単位体積重量 10.0 (kN/m³)

上載荷重 0.0 (kN/m²)

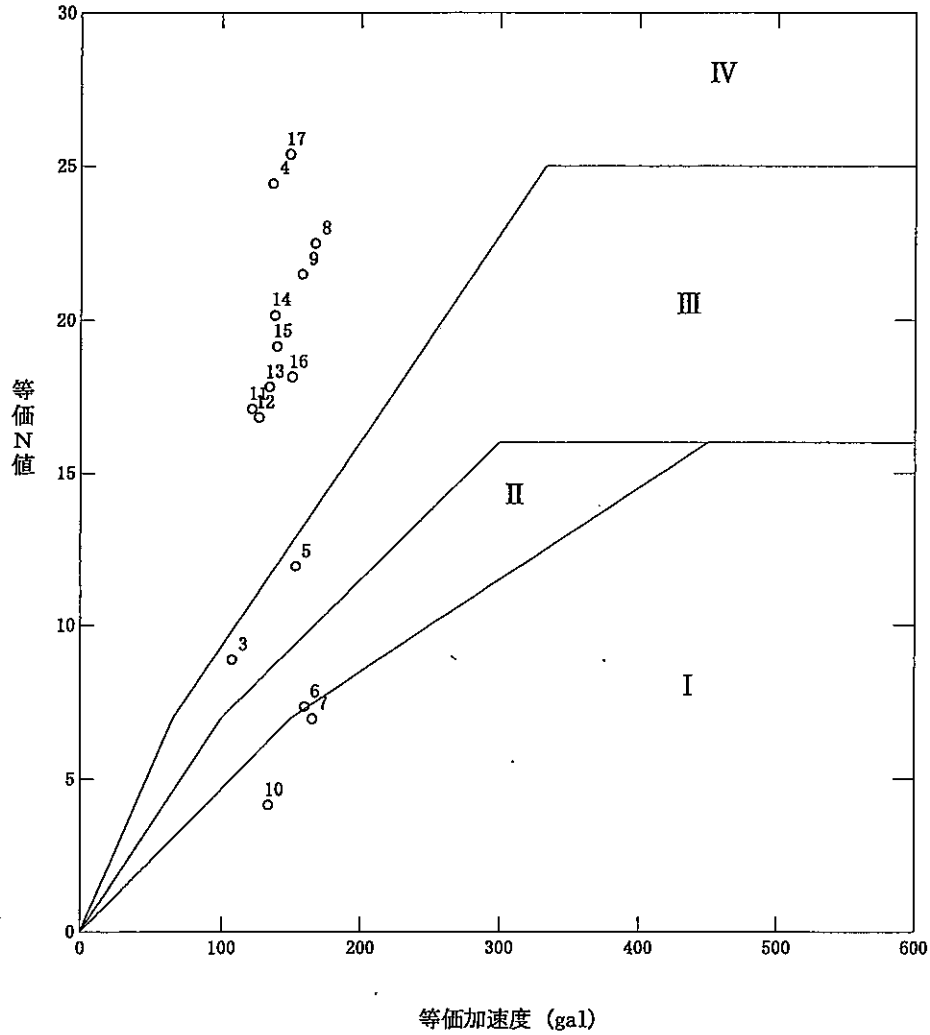
- (注) **1 粒度分布範囲外
- **2 等価N値算式範囲外
- **3 適用範囲外
- **III 等価N値再補正
- **IV 等価N値再補正

標 尺 (m)	標 高 (m)	深 さ (m)	層 番 号	層 厚 (m)	土 質 特 性										液 状 化 の 判 定																											
					N 値		判定 深 さ (m)	湿 潤 重 量 (kN/m ³)	飽 和 重 量 (kN/m ³)	有 上 載 効 庄 (kN/m ²)	等 価 N 値	細 含 粒 分 率 (%)	塑 性 指 数 Ip	補 加 算 係 数 補 正 係 数	最 大 断 せん 力 (kN/m ²)	等 価 (補 正 係 数) N 値	等 加 速 度 (gal)	判 定																								
					0	50												I	II	III	IV	(注)																				
0	6.5	0.0																																								
	6.0	0.49	1	0.49																																						
	5.2	1.29	2	0.80																																					**1	
	3.5	3.00	3	1.71																																					**1	
	2.9	3.64	4	0.64																																						
	-1.5	7.99	5	4.35																																						
	-2.6	9.09	6	1.10																																						
10	-4.0	10.49	7	1.40																																						
	-6.6	13.09	8	2.60																																						
	-9.1	15.59	9	2.50																																						
	-12.9	19.39	10	3.80																																						
20	-13.5	20.00	11	0.61																																						

地点名 No5 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

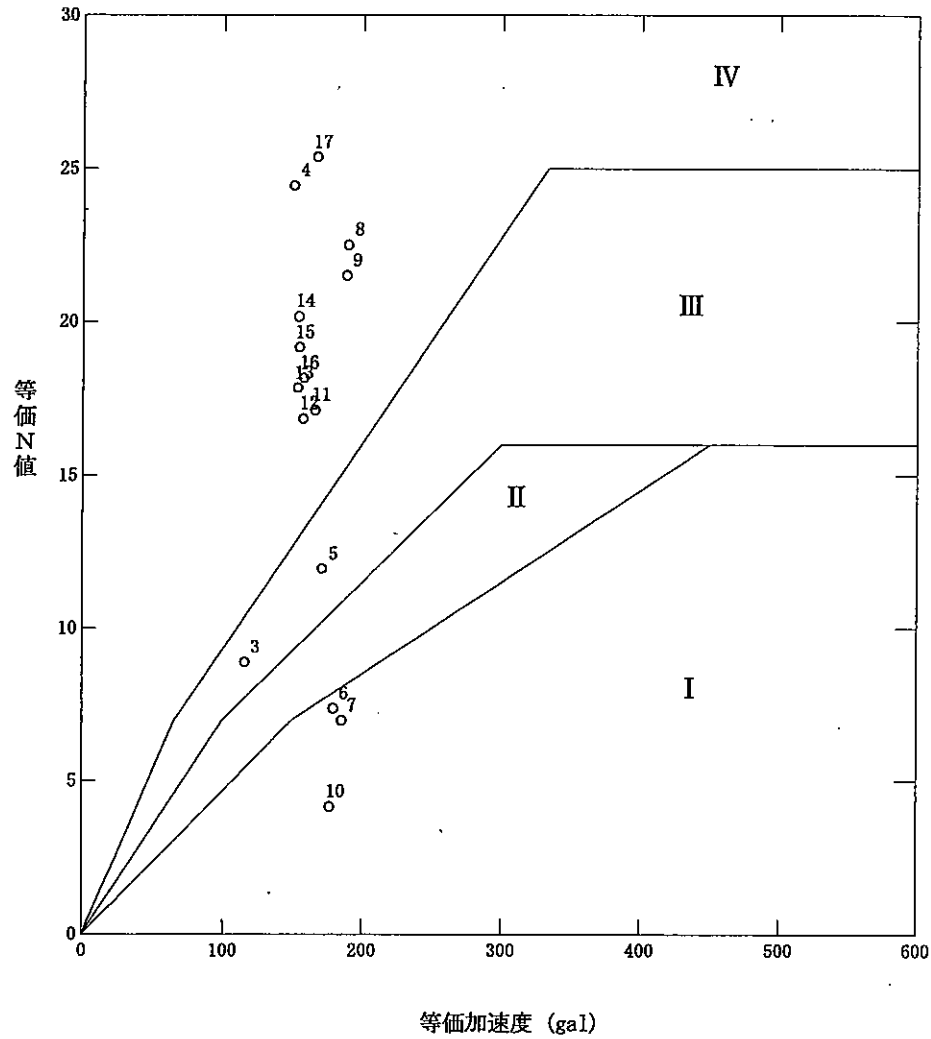


左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No5 計画地盤高AP+6.5m 橋
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

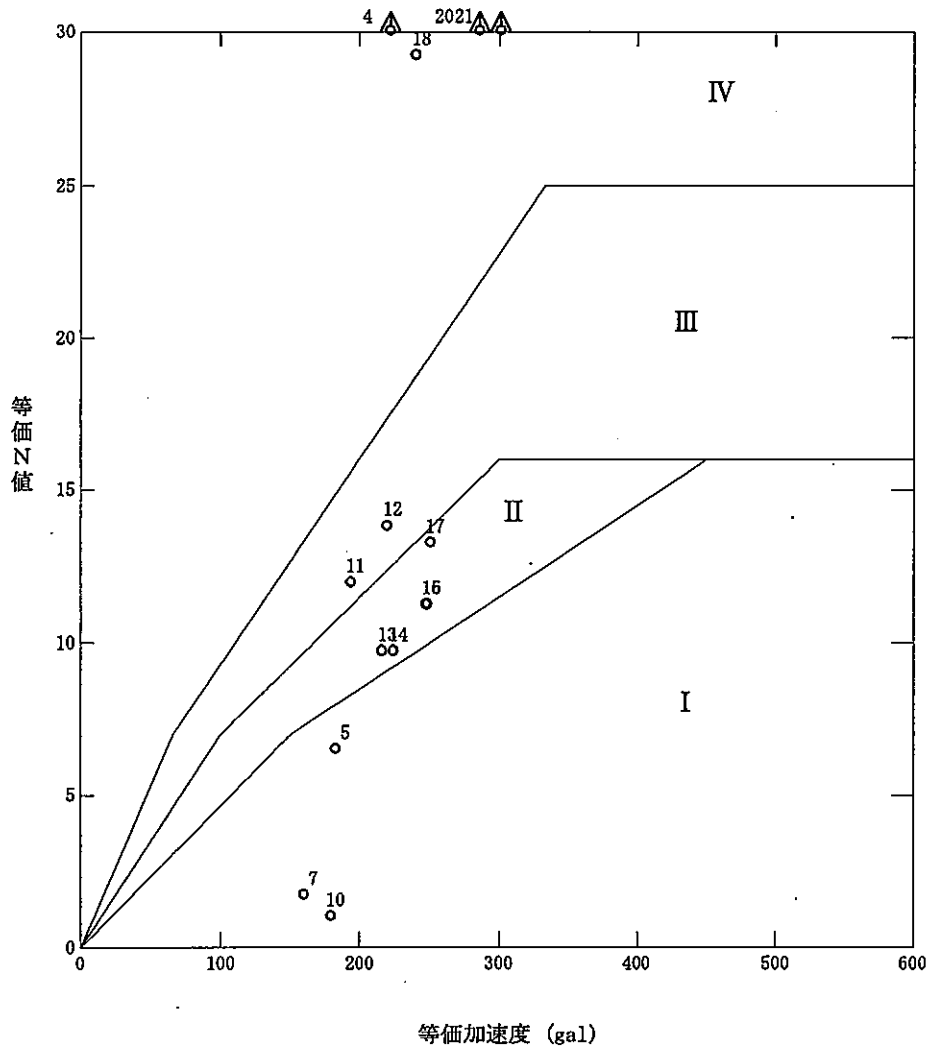
地点名 No6 計画地盤高AP+6.5m八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値（簡易式）



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

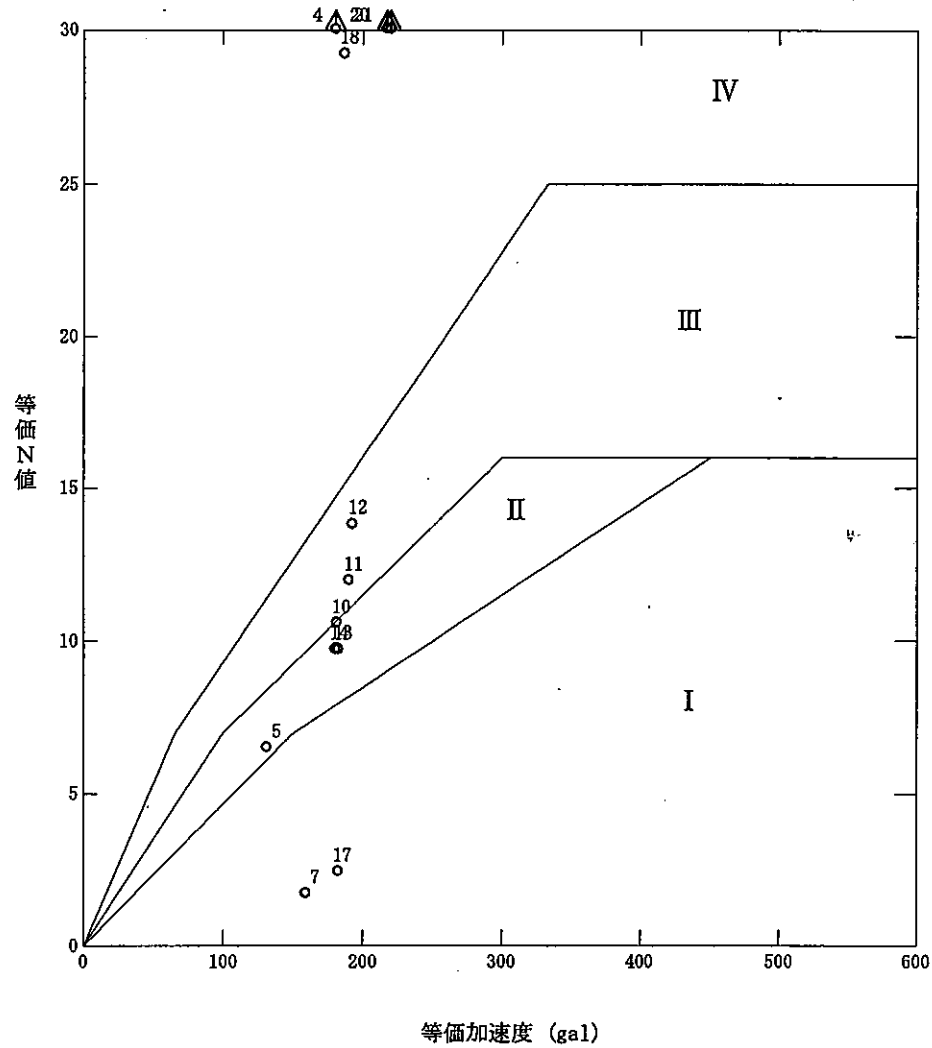
地点名 No6 計画地盤高AP+6.5m大船渡波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

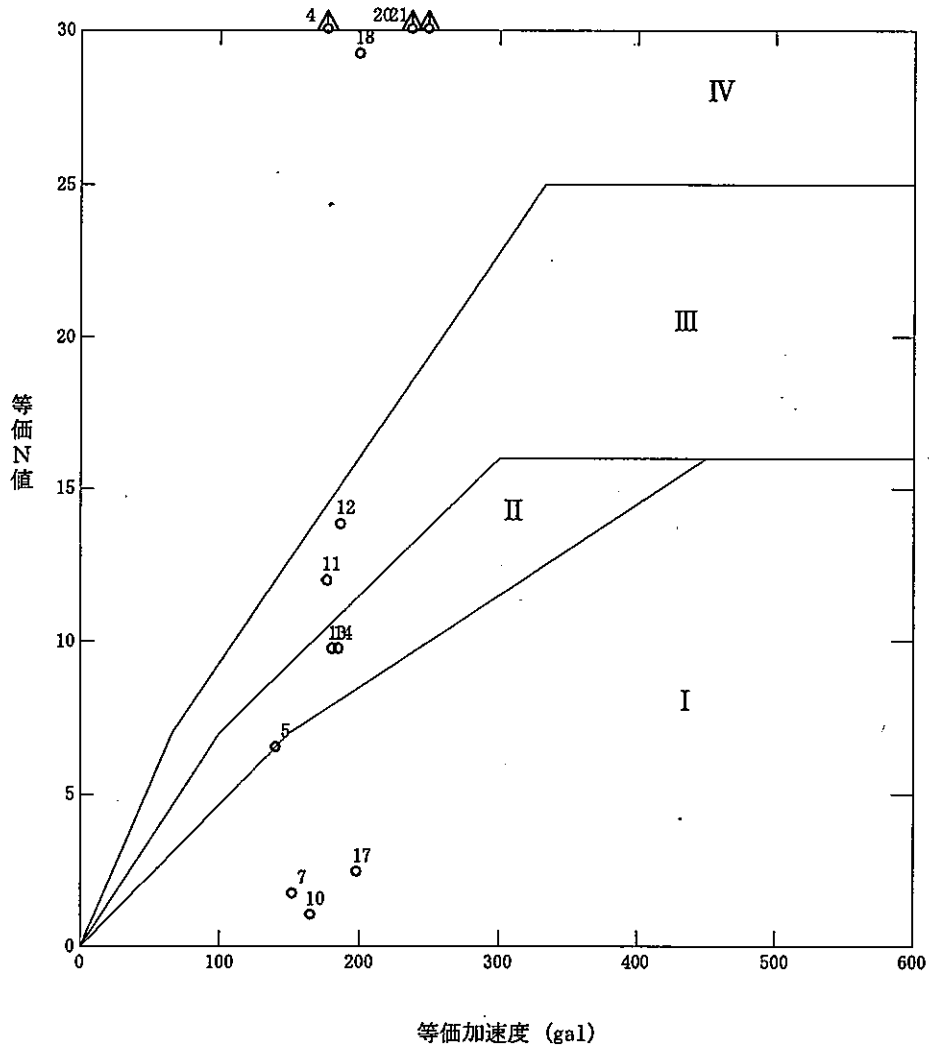


左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No6 計画地盤高AP+6.5m* -トアイラント* 波
 入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

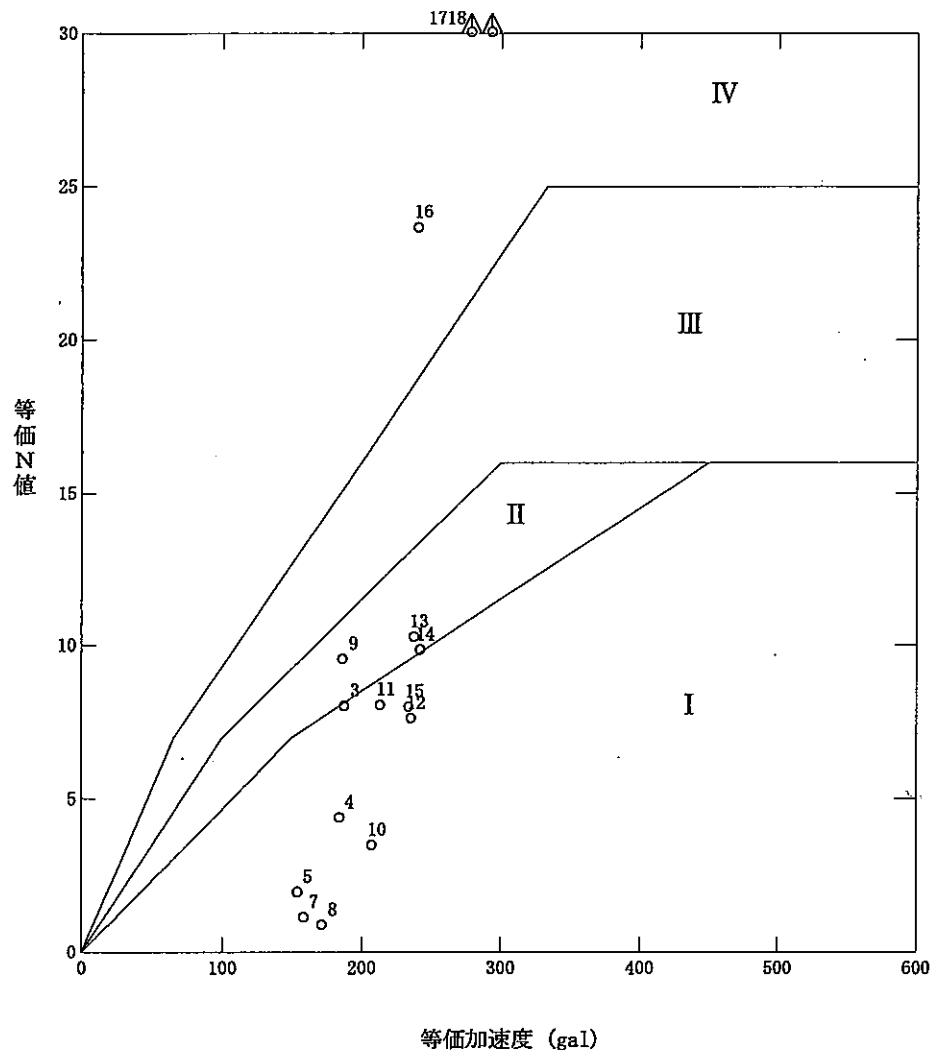
地点名 No7 計画地盤高SP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

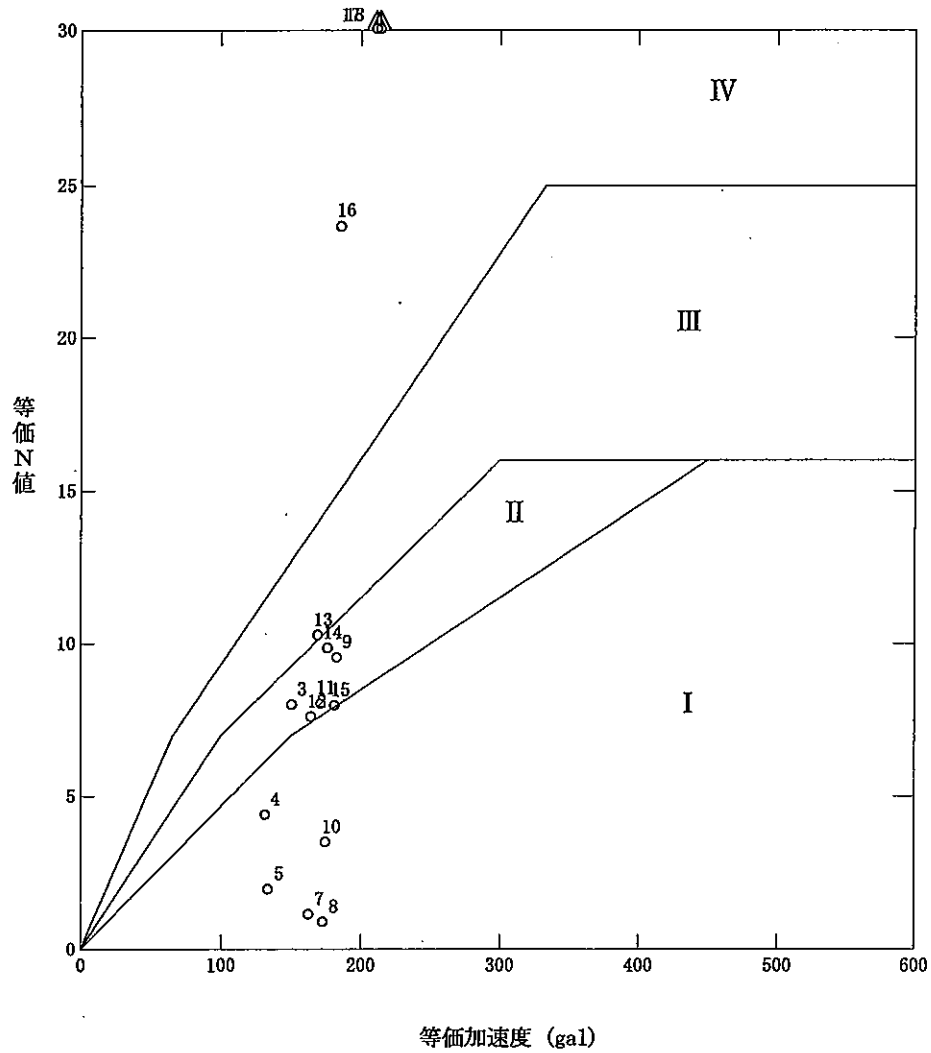
判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

地点名 No7 計画地盤高SP+6.5m 大船渡波
 入力波名

○ 層番号



基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年
 判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)

左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

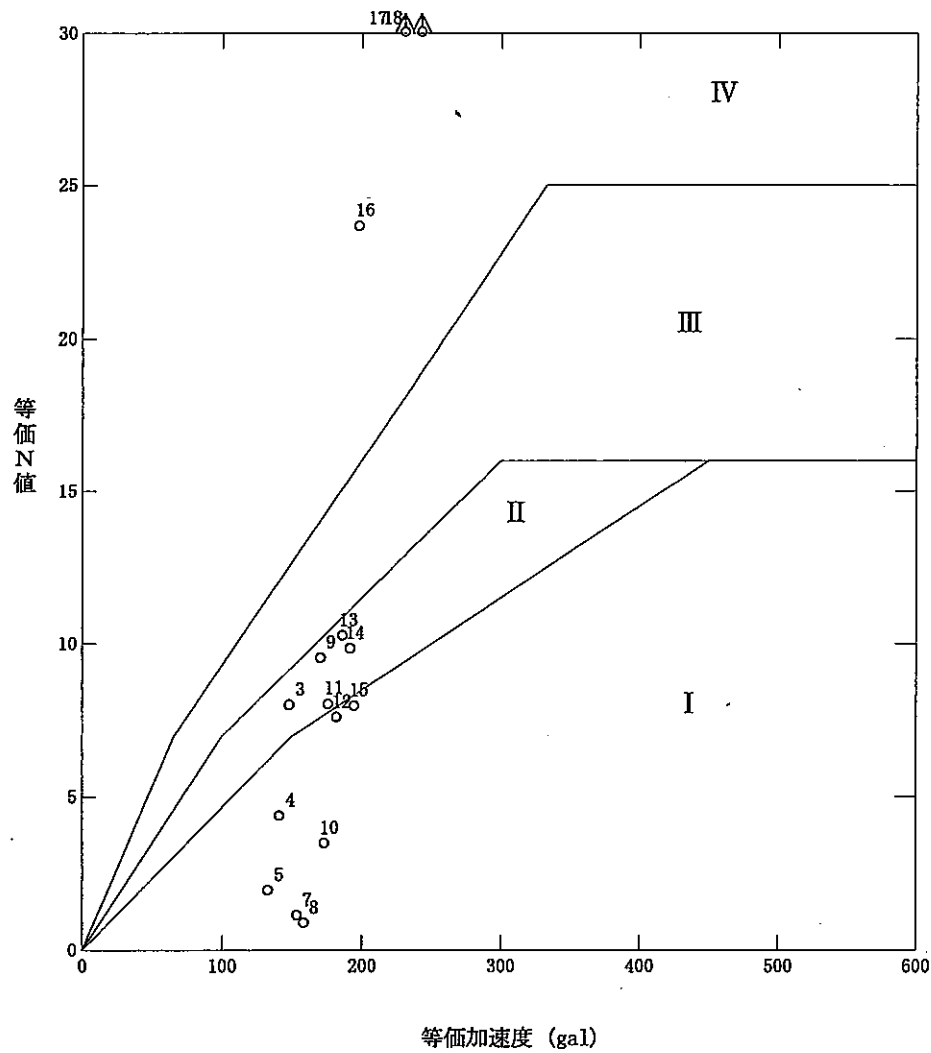
地点名 No7 計画地盤高SP+6.5m ポート

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

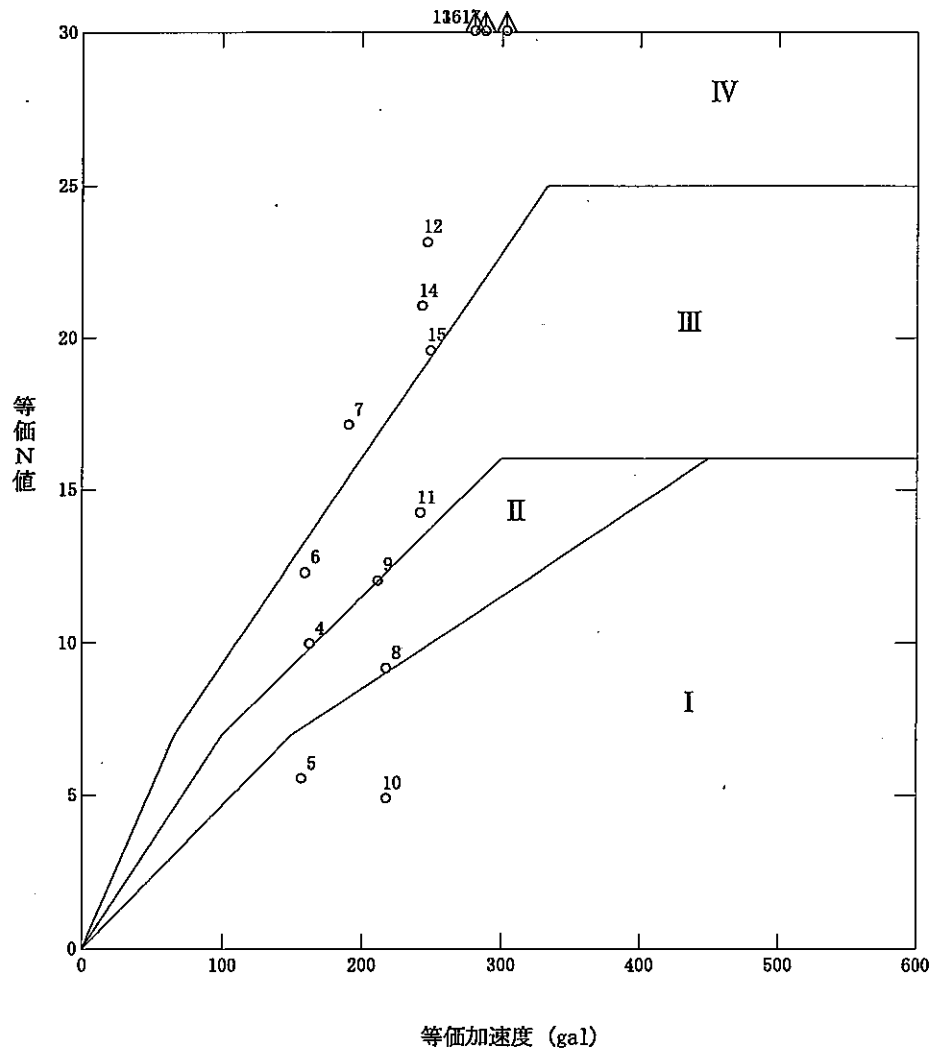
地点名 No8 計画地盤高AP+6.5m 八戸波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

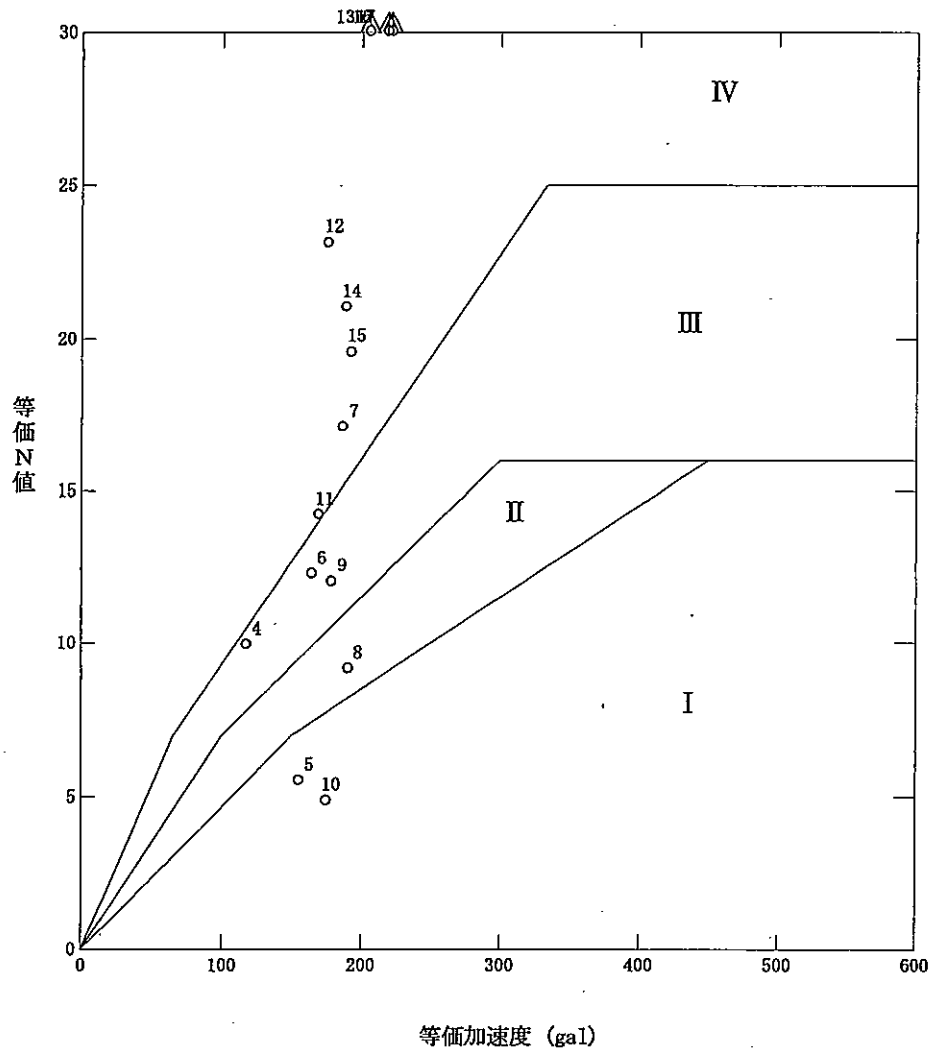
地点名 No8 計画地盤高AP+6.5m 大船渡波

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。

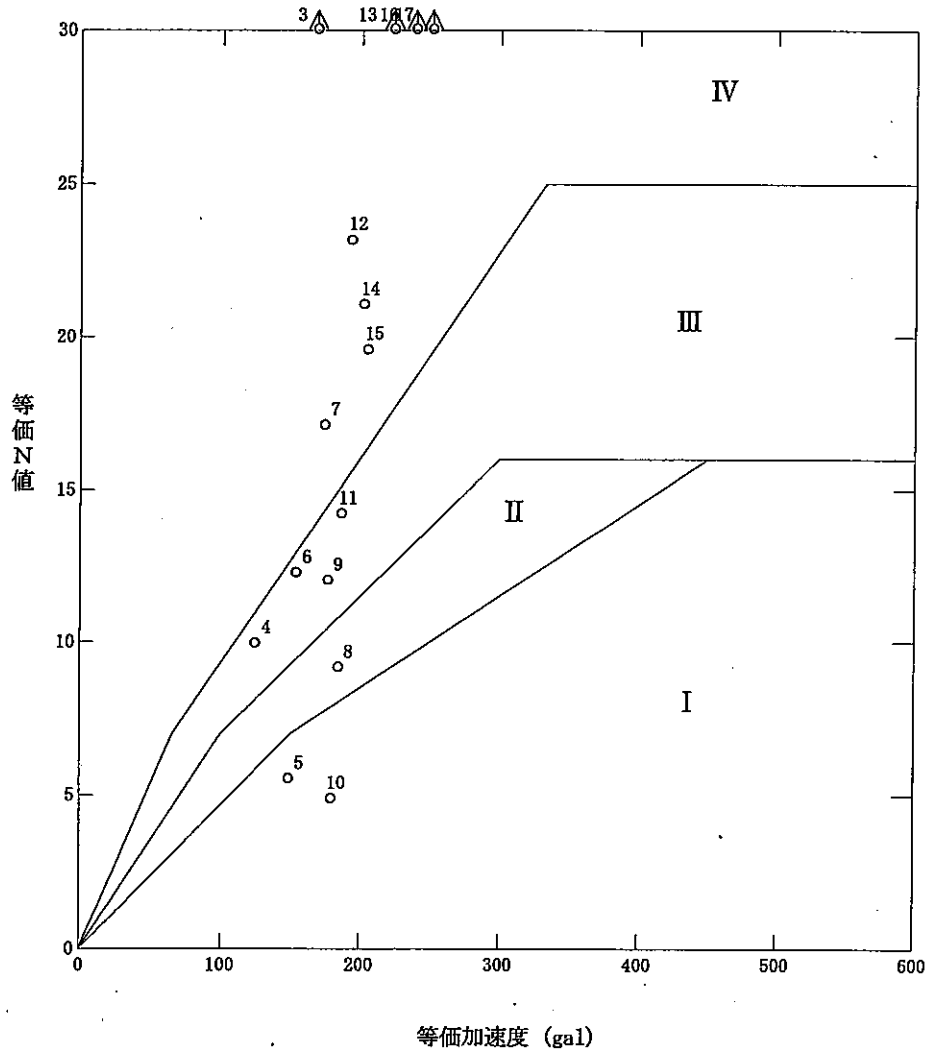
地点名 No8 計画地盤高AP+6.5m ポート

入力波名

○ 層番号

基準名 港湾の施設の技術上の基準・同解説 H11年

判定方法 各層毎のせん断応力と、実測N値 (簡易式)



左図に示す範囲	粒度とN値による液状化の予測	粒度とN値による液状化の判定
I	液状化する。	液状化すると判定。
II	液状化する可能性が大きい。	液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
III	液状化しない可能性が大きい。	液状化しないと判定するか、繰返し三軸試験により判定する。 構造物に特に安全を見込む必要がある場合には、液状化すると判定するか、繰返し三軸試験により判定する。
IV	液状化しない。	液状化しないと判定する。